

高天神に立つたくましい子

教育目標 城東を愛し未来をたくましく生き抜く子ども

平成31年度 4月号

「高天神のおひざ元」

掛川市立土方小学校

「ほんき」になって学び続ける子

令和時代が始まる今年度、本校は163名の児童が、笑顔でスタートです。

「げんき・ゆうき・ほんき」を合い言葉に、未来に生きるための「たくましさ」を身に付けるべく、職員一同創意工夫と情熱をもって努めて参ります。

今年の重点は、“**「ほんき」になって学び続ける子**”の育成です。“「ほんき」で学ぶとは？”そのイメージを共有するために始業式でミニ授業をしました。学習課題「**自転車の一番大事なところはどこだと考えますか？**」と提示した瞬間から



「〇〇！だって～～じゃん！」という声が聞こえてきました。伝えたい！聞きたい！という児童の気持ちが一気に体育館に充満していききました。「一番は決められない。どれもなくてはない」という考えに及ぶ子も多く見られ、感心しました。



学習課題を問いかける筆者（上）
主体的に考え対話を始める児童（下）

課題に対して主体的に考える。対話を通して真理を追求しようとする。多様な考えを聞き合う中で深い思考状態に入っていく。このように、**集中して課題解決に取り組んでいく姿**を「ほんき」と捉えて、授業の中で「ほんき」の姿が表れるように取り組んでいきます。よろしくお願ひします。 （校長 柴田昌彦）